



2月の園だより



クラスだより

早いもので2025年もあっという間に1カ月が経過しました。園内は子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。今年度も残りあと2カ月。一日一日を大切に、冬の遊びや楽しみを見つけながら、今月も元気に過ごしたいと思います。



保育目標

冬の自然に触れながら
元気に遊ぶ

行事予定



- 5日(水) 小学校体験入学
- 6日(木) 誕生日会・節分会
- 10日(月) 錦華幼稚園交流会(さくら組)
- 17日(月) 避難訓練
- *スイミング*
- 4日(火)、18日(火)、21日(火)、24日(祝)、25日(火) 24日…スイミング参観

～おねがい～

- ・感染症が流行しております。引き続き、毎朝の検温へのご協力お願い致します。
- ・欠席の場合は、なるべくパピーナで連絡をお願いします。

リトミック

- 14日(金)、28日(金)

今月は参観が出来ます。

詳細は後日、別紙にてご案内いたします。

絵画教室

- 3日(火)、13日(木)、14日(金)

3月の予定

- 15日(土) 卒園式

つぼみ組 生活の流れを覚えているつぼみ組さん。手を洗って椅子に座ると、人差し指を立てたり、「トントン」と口ずさみ手遊びをしたりする可愛い姿が見られます。また、お友だちのことも分かってきたようで、お名前呼びでは、お返事をするだけでなくお友だちの番になると、一生懸命探し、指を差して教えてくれます。子どもたちの興味を大切にしながら、季節の歌にも触れ、一緒に行事を楽しみたいと思います。

ばら組 先月は正月遊びで羽子板を作りました！好きな所にシールを貼って飾り付けをしたり、アンパンマンの目と口を描いて貼ったりとそれぞれに個性豊かな羽子板が完成しました。今回初めて“顔”を描きましたが、目や口の位置が分かり指を指したり「ここよ」と言ったりする姿が見られました！最近はお友だちとの会話が増えてきており、「一緒に」など可愛い声がたくさん聞かれるようになりました。今月も色々な遊びを通してお友だちとの関わりを大切にしながら過ごしていきたいと思います。

ちゅうりっぷ組 お友だちと一緒に遊ぶことが好きなちゅうりっぷ組の子どもたち。朝ふとした時に、「〇〇くんまだかなー」とつぶやくことがあり、お友だちが来るととっても嬉しそうに笑顔で遊びに誘う姿があります。電車あそびやままごとあそびを楽しみながら、おもちゃの貸し借りの場面ではトラブルもありますが、「かしてー」と言われると「いいよ」や「まってね」などの声も聞かれるようになりました。お友だちの思いや気持ちを受け止めながら自分の気持ちを切り替えようとする姿もあり、成長を感じています。今月も寒さに負けず、元気に遊びを楽しみたいと思います。

すみれ組 先月は正月遊びを楽しみました。初挑戦のかかるたでは、最初は中々取れずに涙を流していたお友だちも、今では何枚も取れるようになり、「先生！いっぱい取れたよ！」と嬉しそうに札を見せにきてくれます♪また、節分の製作で鬼のお面を作りました。今回はハサミを使って丸の形を切るのに挑戦！線からはみ出ないように慎重に進める子どもや、サクサクと切り進める子どもなど様々な姿を見ることができました。お部屋ではまだまだかるたや神経衰弱などのカードゲームが人気です。子ども達と一緒に遊びを楽しみながら体調を崩さないように気を付けて過ごしていこうと思います。

もも組 年が明けると、すぐにお正月遊びに興味を持ったもも組さん。カルタを通して、文字への興味が高まったり、身近な素材で作った凧を園庭で揚げて遊んだり、友達や保育士と一緒に正月気分を味わうことができました。また、音楽祭後に、さくら組さんの和太鼓・楽器演奏を観る機会がありました。真剣な表情で観たり、聞いたりしていた子どもたち。終わると、「かっこよかった！」「太鼓(楽器)をしたい！」と、年長児への憧れがさらに強くなったようです。それぞれの思いを大切に、進級への期待に寄り添っていききたいと思います。

さくら組 キンダー音楽祭までの期間とても頑張っていた子どもたち。終えてからは好きな遊びに没頭する姿が見られています。中でもLaQでは、お城やワンピース、マックセット、ポケモンキャラクターなど説明書を見ながら自分たちで考えて作り上げる姿に手先の器用さ、想像力の成長をとっても感じています。晴れた日には外へ行き、冬の寒さに負けず、たくさん走ってぽかぽかになって暑いというくらい元気いっぱいです♡今月は小学校の体験入学も控えています。期待と不安が入り混じっている姿も見られますが、期待を胸に小学校へ向けて過ごしつつ、残りの2ヶ月も行事はたくさん！まだまだたくさんの思い出を作っていきたいと思います。



「節分」とは季節の分かれ目を意味しています。立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日をさし、一年に4回ありましたが、室町時代に入ると、しだいに立春の前日のみをいうようになりました。豆まきは、中国の鬼をはらう風習が日本に伝わったもので、春を迎え、病やわざわいのない年になるようにと願いがこめられています。